

STUDY ABROAD 2024





遠い世界の、新しい出会いが、 あなたの未来を変える。

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部中国語コースでは、
国境や文化圏を越えたコミュニケーションを体得するために
STUDY ABROAD(海外留学)を必修としています。
1年次から2年次春学期には、STUDY ABROADの準備をしながら
中国語の運用能力を高め、中国語圏の諸相について学びます。
そして2年次秋学期は、いよいよSTUDY ABROADへの旅立ち!
未知の世界があなたを待っています!



CONTENTS

STUDY ABROAD について	2
出発までのカリキュラムの流れ	4
STUDY ABROAD 年間スケジュール	5
STUDY ABROAD と検定試験	6
外国語オナーズ	6
STUDY ABROAD 先の大学紹介	7
・北京大学	8
・上海外国語大学	10
・国立台湾師範大学	12
・復旦大学	14
STUDY ABROAD を迎える前に	15
・生活編	15
・危機管理・健康管理編	16
・パスポートについて	18
・STUDY ABROADに関する内規	18
・派遣前・派遣中のプログラム中止・延期や帰国勧告について	19
・誓約書 / 一時帰国届	19



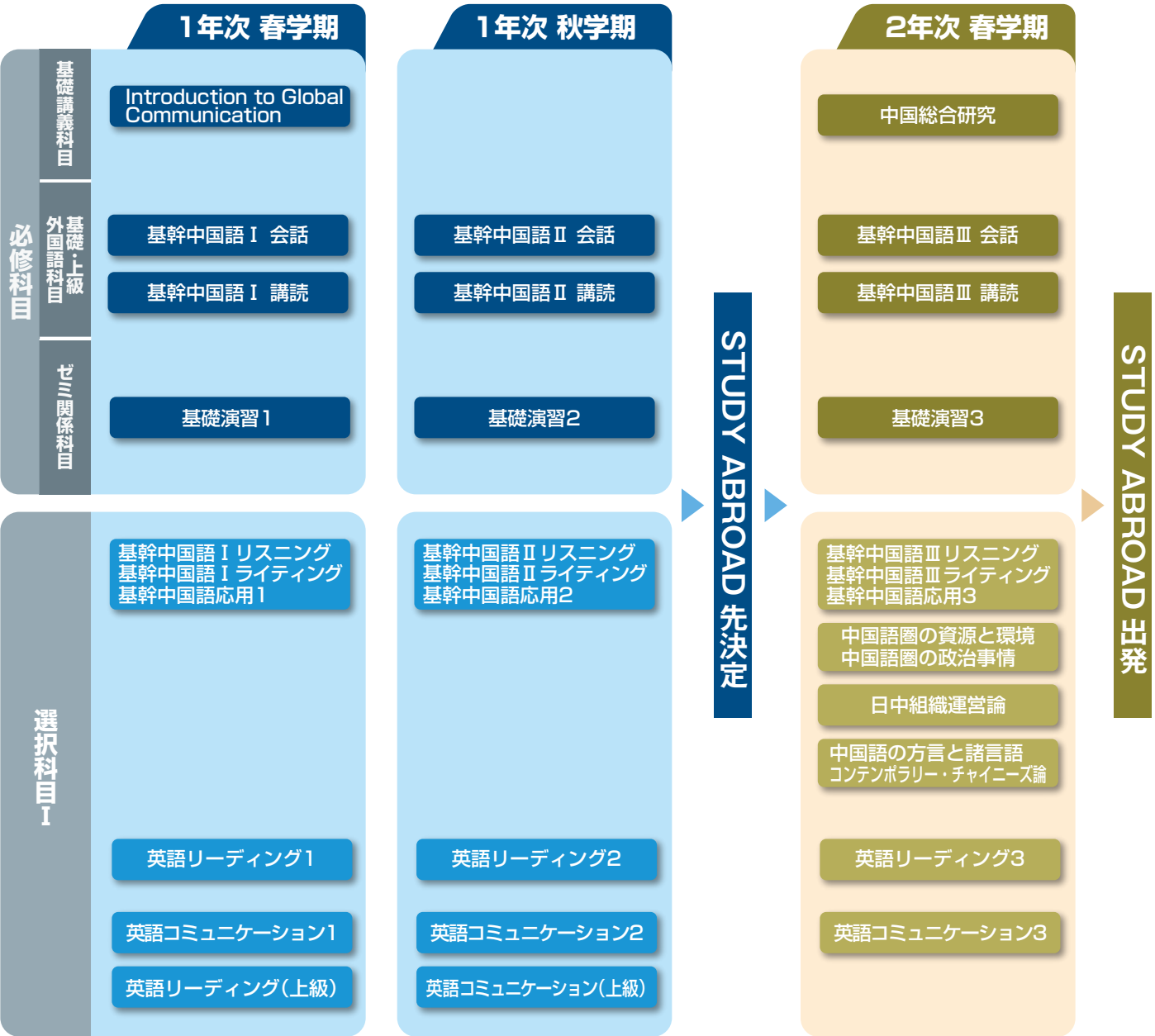
出発までのカリキュラムの流れ

みなさんが同志社大学グローバル・コミュニケーション学部に入學したその時点から、STUDY ABROAD (SA) に向けた準備は始まっています。SAの成果を左右するのは語学力を中心に、総合的な学力をSA開始までにどれだけ高めておくにかかっているといっても過言ではありません。SA先では、最初に中国語のプレースメントテストが行われ、その成績によってクラスが決定されます。つまり、出発までに身につけた語学力によってSA先でのスタート地点が決まってしまうということです。少しでもスタート地点を上げておけば、それだけ高度な学習ができることは言うまでもありません。

1年次は、基幹中国語科目でしっかり中国語の基礎を固めるとともに、Introduction to Global Communicationや基礎演習1・2の授業をととして、グローバル化した世界や中国語圏の言語・文化・社会・歴史等についての理解を深めていくように心がけてください。

2年次春学期は、SA出発に向けていよいよ本格的な準備に入っていきます。中国総合研究の授業の中で留学先への入学やVisa取得のための申請準備を行うほか、基礎演習3の授業では、クラスによって方法は多少異なりますが、各学生の興味に応じて1年間のSA期間中に現地で行う調査・研究のテーマを決定します。また、この学期からは選択科目Ⅰ-B, C, D群の講義科目の履修もはじまり、SAに向けて中国語圏に関する幅広い知識を身につけていきます。引き続き基幹中国語科目で中国語の運用能力を向上させることが重要なのはもちろんです。カリキュラムについては、履修要項やシラバスも参考にしてください。

STUDY ABROAD 出発までのカリキュラム



STUDY ABROAD 年間スケジュール

SA先は、2025年1月中旬提出の希望調査と1年次終了時点のGPAを参考に、2025年3月下旬に決定されます。SA先の検討にあたっては、必要に応じて、下記の責任者ないしは大学別担当者に相談することもできます。出発までのおおまかな流れは以下のとおりです。

年間スケジュール		語学試験 (受験必須)
2024年 9月 上旬	STUDY ABROAD報告会(2023年開始組) ガイダンス(SA全般の説明と今後の流れについて)	
12月 上旬	保護者説明会	
2025年 1月 中旬	SA先希望調査	
3月 下旬	SA先決定	
4月 上旬	中国総合研究	ガイダンス【留学先への入学手続きについて】
4月 中旬		ガイダンス【オンライン入学申請について】
4月 下旬		ガイダンス【査証(ビザ)手続きについて】
5月 上旬 6月 中旬		中国語圏に関する講義
6月 下旬		ガイダンス【危機管理・健康管理について】
7月 上旬		ガイダンス【危機管理・健康管理について】 ガイダンス【単位認定について】 ガイダンス【キャリアデザインについて】
7月 中旬		ガイダンス【危機管理・健康管理について】
7月 下旬		ガイダンス【危機管理・健康管理について】 最終オリエンテーション 壮行会
8月～9月	SA出発	
2026年 7月～8月	帰国 単位認定書類提出	
9月 上旬	STUDY ABROAD報告会	
11月 下旬 12月 上旬		漢語水平考試(HSK) 中国語検定

※開始及び終了の時期はSA先により異なるため、各大学紹介ページを参照してください。

STUDY ABROAD責任者	大学別担当者
唐穎芸	北京大学 郭雲輝 復旦大学 内田尚孝
	上海外国語大学 内田尚孝 国立台湾師範大学 唐穎芸

STUDY ABROAD と検定試験

グローバル・コミュニケーション学部中国語コースでは、卒業までに全員が中国語検定試験2級または漢語水平考試(HSK)6級(合計点の6割以上の得点)に合格することを目標としています。この目標を達成するためのファーストステップとして、SA開始前の6月にHSKを全員に受験してもらいます。受験等級は各自のレベルにあわせて4級から6級のいずれかを選んでください。

SA終了後の11月には、全員がHSKの6級あるいは中国語検定試験の2級以上を受験し、SA中の中国語運用能力の伸長具合を測ります。これら全員受験の検定試験の費用は学部が負担します。1年次やSA終了後にご自身で検定試験を受験する場合は、学部で指定する日程と重なることのないよう注意してください。

■中国語検定試験に関する詳細はこちら
<https://www.chuken.gr.jp/>



■HSKに関する詳細はこちら
<https://www.hskj.jp/>



外国語オナーズ

同志社大学で真剣に語学の習得に取り組んだ証となるのが、「外国語オナーズ」です。「外国語オナーズ」とは外国語科目成績優秀者表彰制度で、毎学期始めに前学期末までの成績を踏まえて募集を行います。受賞者は学長から表彰され、成績証明書にも「外国語オナーズ」の受賞者であることが記載されます。

■申請資格は以下のウェブサイトを確認してください。
<https://www.doshisha.ac.jp/students/honors/index.html>



STUDY ABROAD 先の大学紹介



北京大学



URL

北京大学
https://www.pku.edu.cn/

对外汉语教育学院
https://hanyu.pku.edu.cn/



所在地	北京市海淀区颐和园路5号
創立年	1898年
運営	国立
滞在方法	寮

北京大学での1年

各年度の学年暦はSA開始後に確認してください。

9月	年度初め、1学期開始
旧暦8月15日	中秋節休暇
10月1日	約1週間の国慶節休暇
元旦	休暇
旧暦1月1日	前後約2週間ずつの春節休暇
1月中旬～下旬	1学期終了
2月	2学期開始
5月4日	創立記念日休暇
6月下旬～7月上旬	年度終わり

このほか、清明節・労働節・端午節などが休みとなります。

空港からのアクセス

北京首都国際空港には日本各地から直行便が飛んでおり、関西国際空港からは3時間15分前後のフライトです。空港から大学近くまではリムジンバスが通っており約1時間半で到着します。



現地スタッフからのメッセージ

北京大学是中国历史最悠久的大学。这里有非常优秀的老师，有非常可爱的学生，有非常美丽的风景。北京大学欢迎你！人不可能一辈子都生活在一个地方，但是在某一个地方的生活很可能会影响他一辈子。我们希望，对于你来说，北京大学就是这样一个地方。

北京大学的学风是严谨而活泼，自由而厚重的。这里，有蜚声国内的顶级学者，有闻名于世的各界专家，更有初出茅庐、意气风发的热血少年。先进的学术和澎湃的思想在这里激荡，这里永远跃动着“不安分”的灵魂。北大是古老而又年轻、传统而又现代的，她的魅力，是必须用全部的身心，才能感受得到的。

黄玉梅



語学力向上だけではないSA生活

竹内 諒玖さん

人生を変える大きなきっかけ、出会いに溢れたSA

私がSA先に選んだ北京は中国の首都であるだけでなく、歴史や文化を感じられる街です。そこに大きな魅力を感じました。また中国だけでなく世界中から優秀な学生が集まる北京大学で勉強したい気持ちも強くありました。北京に来てから北京大学の学生だけでなく、世界中からやってきた留学生、北京大学以外の中国人学生とも知り合うことができました。語学力を伸ばすだけでなく、人との出会いもSAの醍醐味だと思います。

受講した授業の中で特に印象に残っている授業は二つあります。一つ目は口語の授業です。発音が苦手な私は毎日のように先生に発音を注意されましたが、中国人の友人に発音をチェックしてもらうことで少しずつ改善することができました。また、この授業ではクラスメイトとディベートをすることが多く、自分の意見を中国語にすることができないもどかしさを何度も感じました。しかし、先生が使った用法を真似することや、言葉を言い換えることで少しずつ自分の意見を相手に伝えることができるようになりました。この授業を通じて中国語で伝える力が大きく成長しました。

二つ目は秋学期に受講した文法の授業です。文法表現によって異なる中国語の意味を捉えることにとても苦労しました。先生の話す内容を理解することはとても大変でしたが、この授業を通じて、少しずつ内容を理解することができるようになりました。

授業外の日々も発見に満ち、充実したものでした。特に留学生や中国人学生の友人との会話が印象に残っています。会話の中で相手の育った場所と自分が生まれ育った日本を比較することができ、日本にいた頃は気付けなかった日本の良さを認識することができました。また長期休暇には中国各地へ旅行に行き中国文化の豊かさを実感しました。本からの知識だけでなく、実際にその土地へ足を運ぶことで知ることができるものがあると思います。

私の北京大学へのSAは語学力の向上はもちろん、様々な人と出会い、考え方に触れたことで自分自身を見つめ直すきっかけにもなりました。SAに来る前は、卒業後の目標も決まっていなかったのですが、北京でSAを経験したことにより、中国で活躍する記者になるという新しい目標ができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、これからさらに自分の学びを深めていきたいと思っています。



キャンパス

北京大学のキャンパスは北京市西北の郊外に位置し、頤和園、円明園、香山など多くの観光名所に囲まれています。北京大学にも多くの観光客が訪れます。郊外といっても、大学内には食堂、カフェテリア、購買部、銀行、郵便局、病院、クリーニング店などが揃っていますし、大学のすぐ横は中国のシリコンバレーと呼ばれる中関村で、大きな書店、ショッピングセンターなどがあります。また、北京大学の東門を出たところには地下鉄の駅があり、北京の繁華街のひとつである西単まで約30分で到着します。キャンパスそのものも美しく、未名湖、博雅塔などは北京大学のシンボルとして親しまれています。2008年の北京オリンピック・パラリンピックの際には、北京大学のキャンパスがマラソンコースの一部として使われ、体育館は卓球場となりました。



北京市について

言わずと知れた中華人民共和国の首都、人口約2,100万人を抱える国際都市です。歴史的に多くの王朝の首都が置かれたことから、市内は暮盤の目状に区画されており、古い時代から近代に到るまで多くの名所旧跡が散在しています。同時に、北京はアート・音楽・ファッションなど現代中国文化の発信地でもあり、伝統とモダンが自然と同居しているところが魅力のひとつです。

普通話（共通語）は北京のことばを元にデザインされていますが、いわゆる北京語（方言）とはかなり異なる部分もあります。北京の人は早口ですので、初めのうちはなかなか慣れないかもしれませんが、意気消沈することなく街中でのコミュニケーションを実践していきましょう。



上海外国語大学



URL

上海外国語大学
<https://www.shisu.edu.cn>



国際文化交流学院
<http://www.scse.shisu.edu.cn>



所在地	中国上海市大連西路550号
創立年	1949年
運営	国立
滞在方法	寮

基本情報

上海外国語大学は、中華人民共和国初の外国語高等教育機関として、1949年12月に創立された後、数度の名称変更を経て、1994年に現在の校名に改称されました。国家教育部に直属する国家重点大学で、高級翻訳通訳学院は国際会議通訳者連盟（AIIC）の最高格付を獲得しており、国際通訳翻訳大学院協会（CIUTI）も上海外国語大学に「アジア太平洋地域オフィス」を開設しています。学部学生約6,000人、大学院生約3,000人に加え、世界各国からの留学生約4,300人が学ぶ文系総合大学です。グローバル・コミュニケーション学部の学生は、外国人留学生に中国語・中国文化の教育を専門に行う学部（国際文化交流学院）に所属することになります。

上海外国語大学での1年

各年度の学年暦はSA開始後に確認してください。

9月	年度初め、1学期開始
旧暦8月15日	中秋節休暇
10月1日	約1週間の国慶節休暇
クリスマス～元旦	休暇
旧暦1月1日	前後約2週間ずつの春節休暇
1月中旬～下旬	1学期終了
2月	2学期開始
6月下旬～7月上旬	年度終わり

このほか、清明節・労働節・端午節などが休みとなります。

空港からのアクセス

上海浦東国際空港には日本各地から直行便が飛んでおり、関西国際空港からの所要時間は約2時間30分です。空港から国際文化交流学院のある虹口キャンパスまではリムジンバスと路線バスを乗り継いだ場合には約2時間、タクシーで約1時間です。



現地スタッフからのメッセージ

大家好！欢迎大家来到上海外国语大学参加汉语学习。上海外国语大学成立于1949年，是中华人民共和国成立后兴办的第一所高等外语学府，是新中国外语教育的发祥地之一。目前，我校同60多个国家的400多所高校或组织建立了合作关系，其中在日本就有30多所合作大学。我校开展留学生教育事业已超过40年，首批招收的就是来自日本的留学生。2020年前，每年有近5000名来自一百二十余个国家的留学生，在我校参加各类项目的学习。在汉语教学上，我校拥有完善的教学体系和优质的师资队伍，并结合实际教学中的常见问题，专门编写了满足各层级教学的汉语教材。学习之余，我们还为留学生们安排了丰富多彩的课外活动，使同学们在学习汉语，体验中国文化的同时，还能在与其他国家的学生的交流中，增进与不同文化的相互了解。虽然目前同学们还不能参加我们的线下课程，但相信在不久的将来，大家一定可以来到上海，体验快乐的留学生活。张艳莉 院长



多様性にあふれる上海で学ぶ

藤江 奈々さん

「異文化理解」の意識が変わる瞬間に出会えます

皆さんは「上海」という言葉から何を連想しますか。私の場合、外灘のきらびやかな夜景や異国情緒の残る街並みが思い浮かびます。上海外国語大学では、そんな魅力あふれる上海の姿をさまざまな国籍の素晴らしい友人たちと一緒に体験できます。

毎日が多くの学びに満ちたSA生活ですが、私は授業のレベルの高さや文化背景の異なるクラスメイトたちと行うディスカッションに戸惑うなど、多くの挫折も経験しました。しかし、日本にいたとき以上に予習復習を徹底し、クラスメイトの国の文化を積極的に学ぶように努めた結果、その姿勢を見た先生や友人たちが親身になってサポートしてくれました。そのおかげでクラスのリーダーに推薦していただけるまでに成長し、秋学期が終わる頃には授業に行くことが楽しみになっていました。

また、上海外国語大学では本科生（学部生）が主催する交流イベントも多く開催されています。イベントで中国の文化を学んだり、実際に上海の街を歩いてみるなど、日常生活の中で中国語を話すことで会話のスピードにも徐々に慣れていくことができました。さらに、私のクラスでは各国の料理を紹介しあって食べる、街歩きをして動画を作成する、クリスマスのプレゼント交換など、積極的にイベントが実施されていました。こうしたイベントはクラスの交流を深めるきっかけとなりました。彼らの文化背景

を学ぶとともに、クラスで日本の文化を紹介したことは私自身が日本の文化を再認識する機会にもなりました。

同志社大学での学びの中でも多く取り上げられる「異文化理解」ですが、真の異文化理解とは自国の文化に対する知識を持ち、その上で他文化について学び、その国の人々を尊重する姿勢と考え方を養うことではないでしょうか。寮の窓から見える外灘の景色、遅くまで灯る図書館の光、キャンパス内を歩く猫、そんな思い出とともにSAで得た多くの経験と学びを忘れず、今後の自分の成長につなげていきたいと思っています。



キャンパス

上海外国語大学には、虹口・松江のふたつのキャンパスがあり、留学生は主に虹口キャンパスで学びます。虹口キャンパスは、上海市中心部に位置し、地下鉄3号線の赤峰路駅や地下鉄3号線および8号線の虹口足球场駅から近く、非常に便利です。南隣には鲁迅公園があり、市民の憩いの場となっています。



上海市について

中国の大河長江の河口付近に注ぐ黄浦江の両岸に広がる港町で、人口約2,400万人です。主に旧上海县城、旧共同租界、旧フランス租界、浦東新区から成る市街地は、それぞれのエリアが歩んだ歴史を景観として今に伝え、世界中からの観光客を魅了しています。また、世界第2位の経済大国に躍り出た中国経済の牽引車として、世界から最も注目されている経済・金融都市のひとつでもあります。在留邦人数は、4万人以上に上ります。2010年、同市で開催された万博は、参加国・参加地域、入場者数ともに史上記録を塗り替えました。

上海市内では、上海語（方言）を耳にすることもありますが、中国随一の都市として外来人口も多いため、市民はみな普通話（共通語）を話します。学んだ中国語を実践する上で何の問題もありません。



国立台湾師範大学



URL

国立台湾師範大学
<https://www.ntnu.edu.tw/>

国語教学中心
<https://mtc.ntnu.edu.tw>



所在地	台北市和平東路一段162号
創立年	1946年
運営	国立
滞在方法	寮

基本情報

国立台湾師範大学は、1946年に台湾省立師範学院として設立されました。前身は日本統治期の台北高等学校で、今でも学内には1920年代の建築が残っています。現在の国立台湾師範大学は、10学部の元に59の学科や研究所を備える総合大学で、学部学生と大学院生を合わせて15,000人余りが在籍しています。グローバル・コミュニケーション学部の学生が所属することになる国語教学センターは1956年に設立されました。台湾で最初に外国人への華語（標準中国語）教育をはじめた機関で、その教学内容や方法には定評があります。ここには、毎年70余りの国と地域から約1,700人が華語の学習にやってくるので、学内にいながら多くの外国人と華語で交流することができます。

台湾華語は、若干の違いはあるものの基本的にはみなさんが大学で学んでいる「普通話」と同様の言語です。台湾では正体字（繁体字）が使われているので、はじめのうちは少しとまどうかもしれませんが、すぐに慣れるので心配いりません。漢字の発音記号として、台湾では「注音符号」が広く使われていますが、国立台湾師範大学国語教学中心センターでは、中華人民共和国のピンインを使用しているので安心です。また、注音符号については、派遣前に希望者を対象として講習会を行う予定です。

国立台湾師範大学での1年

各年度の学年暦はSA開始後に確認してください。

9月	年度初め、秋季クラス開始
旧暦8月15日	中秋節休暇
9月28日	教師節休暇
10月10日	国慶節休暇
11月下旬	秋季クラス終了（約5日間の休暇）
12月	冬季クラス開始
元旦	休暇
旧暦1月1日	約1週間の春節休暇
2月下旬	冬季クラス終了（約5日間の休暇）
2月28日	228記念日休暇
3月	春季クラス開始
5月下旬	春季クラス終了（約5日間の休暇）
6月	夏季クラス開始
8月下旬	夏季クラス終了

このほか、清明節・端午節などが休みとなります。

現地スタッフからのメッセージ

你好（ニーハオ）。

中文是世界上四分之一以上の人使用的語言，敝校也有著眾多來自世界各地的學生。國立臺灣師範大學國語教學中心秉持以正體中文教材、專業指導教學，讓學生能夠學到最正統而實用的中文。另外，課外時間學生能夠透過朋友、老師學習台灣文化、享受校園生活。藉由來師大留學、學習中文，可以跟世界上更多的人交流，期望各位同學可以以此經驗邁向將來的目標。

陳 振宇 主任



空港からのアクセス

台湾桃園国際空港には日本各地から直行便が飛んでおり、関西国際空港からは3時間ほどのフライトです。空港から大学近くまではリムジンバスが通っており、約1時間に到着します。



出逢いに溢れた台湾へのSA

遠坂 保乃さん



たくさんの良い出逢いが、SA生活を実りあるものに

私はこの一年間の台湾でのSA生活を通して、人はもちろん、台湾の芸術や食、言語などの伝統的な文化から政治に至るまで、たくさんの「出逢い」を経験することができました。

台湾でのSA生活はとても有意義で、他の留学生や先生との良い出逢いがたくさんありました。私のSA先である台湾師範大学では、メインとなる中国語の授業を10人以下の少人数クラスで受けます。クラスメイトと深く交流することができ、学生一人一人が積極的に発言できる環境が整っていると感じました。先生によっては授業に関連した台湾のニュースや世論をリアルタイムで教えてくださり、日本で台湾のニュースを見るのとはまた違ったリアルな視点から、政治的な話題などについて、より深く理解することができました。

また、仲良くなったクラスメイト達とよく一緒にご飯を食べに行きました。皆で初めての台湾料理に挑戦したり、台湾の食文化にもたくさん触れる機会がありました。台湾は夜市や、テイクアウトできるドリンク専門店など、気軽に飲食できる食文化が非常

に発展しています。食文化を深く理解し、楽しめたことは、留学生として貴重な経験の一つでした。

授業以外では、私は台湾師範大学にあるハンドメイドサークルに参加していました。このサークルでは、本科生である台湾の学生と交流しながら、台湾の芸術文化を知ることができました。現地の学生達と雑談をしながらものづくりをする活動は、本当に楽しく、得難い時間でした。また、私は大学での活動以外にも、台湾のバレエ教室に通っていました。日本で長くバレエを続けていたので、台湾でも続けたいという思いがありました。現地の方との交流の機会を持ちたいという理由で通い始めた教室でしたが、先生も生徒さんも急に来た留学生の私をとても温かく歓迎して下さい、本当に嬉しかったです。

このように、一年間の台湾でのSA生活ではたくさんの魅力的な人、文化に出逢うことができ、現地で実際に起きている物事に一番近い視点で触れることができました。SAの一年間は長いようで本当にあっという間です。これから皆さんが行かれる台湾での貴重なSA生活が、たくさんの良い「出逢い」で満たされることを願っています。

キャンパス

国立台湾師範大学のキャンパスは、MRT（地下鉄）の古亭駅から徒歩5分のところに位置し、台北市のどこに行くにも非常に便利です。

図書館、視聴覚室、コンピュータールーム、スポーツ施設などは、正規の学生と同じように利用することが可能です。学内には食堂、カフェテリア、購買部などが揃っているほか、大学横には有名な師大夜市も開かれ、食事など生活面で困ることはほとんどないでしょう。



台北市について

台湾の政治・経済の中心が台北です。台湾の最北部に位置し、地域の人口は約270万人、日本企業も多く進出しています。物価は日本より少し安いと感じることが多いようです。台北の街中では、ときおり台湾語（福建系の方言）を耳にすることもあります。華語（標準中国語）が使われることが圧倒的に多く、市民はみな華語を話すのでコミュニケーションで問題になることはありません。学んだことをどんどん実践していきましょう。



復旦大学



URL

復旦大学
https://www.fudan.edu.cn/

国際文化交流学院
https://ices.fudan.edu.cn/



所在地	上海市楊浦区邯鄲路220号
創立年	1905年
運営	国立
滞在方法	近隣の国際学生寮

復旦大学での1年

各年度の学年暦はSA開始後に確認してください。

9月	年度初め、1学期開始
旧暦8月15日	中秋節休暇
10月1日	約1週間の国慶節休暇
クリスマス～元旦	休暇
旧暦1月1日	前後約2週間ずつの春節休暇
1月中旬～下旬	1学期終了
2月	2学期開始
6月下旬～7月上旬	年度終わり

このほか、清明節・労働節・端午節などが休みとなります。

空港からのアクセス

最寄りの空港は上海浦東国際空港です。日本の主要空港とは直行便で結ばれており、関西国際空港からの所要時間は約2時間30分です。空港から大学までは、地下鉄（最寄り駅は10号線五角場駅、なおリニアモーターカー利用の場合は龍陽路駅で地下鉄乗り換え）、リムジンバス機場4号線、タクシーなどで約40分から1時間程度かかります。

現地スタッフからのメッセージ

我是復旦大学外事处的朱一飞，主要负责亚洲及非洲事务。我毕业于复旦大学，专业为日语。欢迎同志社大学的各位学生前来复旦大学交流。即便中文零起点的您也无须担心，因为我和负责日本项目的元老——俞纯麟老师在，还有我们外事处的老师在。

复旦大学是一所位于上海的百年名校，在中国综合排名第三。复旦是上海唯一一所将主校区设立在市中心的高校。身在复旦美丽的校园内，您仍能感受到都市的繁华与便利。复旦有3000多位留学生，日本留学生比例居第二。即便身在异国他乡，相信国际化的复旦校园一定会带给您家一般的温暖。复旦有顶级学者、各界名人专家开设的讲座与课程等着您去聆听，有丰富多彩的社团与活动等着您去参与，还有各种肤色的友人等着您去结交。

相信我，来复旦，没错的！

朱一飞



キャンパス

邯鄲、江湾、楓林、張江の4つのキャンパスがあり、総面積は約244万平方メートルと広大です。図書館の蔵書数は560万冊、定期刊行物総数は25,000種類以上にものぼります。学生のクラブ・サークル活動も盛んで100以上の団体が活動しています。キャンパス内には、学生食堂や総合体育館、コンビニがあるほか、近くの五角場には、スーパーや百貨店、家電量販店など様々な商業施設が立ち並び、充実したキャンパスライフを送ることができるでしょう。また、復旦大学より徒歩10分程度の便利な場所に、利用予定の国際学生寮があります。各部屋にトイレ・シャワースペース・エアコン・ベッド・机・ドライヤー・テレビ・小型冷蔵庫・クローゼットが備え付けられています。さらに共有のシェアキッチン・コインランドリーのほか、ジムもあります。近くを通る地下鉄10号線を利用すれば20分ほどで上海随一の繁華街南京路に出ることができます。



STUDY ABROAD を迎える前に

生活編

SA先の国で安全・快適に過ごすためには、事前の情報収集は欠かせません。以下に挙げた情報はあくまで一般的なものです。特にオリエンテーションや住居については、SA先大学からのインフォメーションにきちんと目を通し、必要であれば各自インターネットを使って調べるなど、自ら情報を収集する癖をつけておきましょう。

■ オリエンテーション

SA先の大学の多くは、新たに入学した留学生にキャンパスや学内施設を紹介するなどの、オリエンテーションを開催しています。参加が義務付けられている場合もあれば自由参加の場合もありますが、できる限り出席することをおすすめします。

オリエンテーションで扱われるテーマは、図書館や医療センターなどの学内施設の見学や、各種支援サービスなどの学内リソースの紹介、科目履修登録の方法、その国の文化・生活についての説明、ビザや法規制に関する説明など多岐に渡ります。どれも、その国でSA生活を送るために大切な情報です。また、オリエンテーションの場で他の留学生と出会ったり、留学生アドバイザーと知り合うこともできます。

■ 住居・食事

中国語コースSA先での住居は大学の寮ないしグローバル・コミュニケーション学部が定めるゲストハウスです。

大学内にある学生寮やホテル形式の宿舎に滞在する形態となります。ルームメイトがいる2人部屋のものもあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルームなどに隣接しているアパートタイプのものもあります。ほとんどの場合、ベッド、勉強机、クローゼットなどは備え付けられていますが、シーツや毛布などは各自で用意しなければならない場合もあります。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣の店で揃えることが多いようです。

食事は多くの場合、大学の食堂やカフェテリアを利用します。キッチンがついている寮であれば自炊もできます。できるだけバランスを考えた食事を摂るように心がけましょう。この他、寮内には、ラウンジやシャワールームなどが完備されています。

■ 課外活動

SA期間中に最も重視すべきことは、授業への出席を始めとする勉強面であることは言うまでもありませんが、放課後や休日などの余暇は各自で自由に時間を使うことができます。SA先大学の学生や地域の人々との交流は自分次第でいくらかでも可能ですので、興味のある活動には積極的に参加して充実したSA生活を送ってください。

SA期間中は、SA先大学にあるクラブ活動に参加したり、ボランティアやインターンシップに参加することもできます。積極的に情報収集をして、興味のある分野の活動を探してみましょう。こういった活動に参加することで、交友関係が広がったり、視野が広がって将来の道が見えてくることもあります。興味があれば、SA先大学の担当者や各団体に問い合わせてみてください。

その他、SA先大学の国際センターなどが主催している留学生のための交流プログラムもあります。語学パートナーの制度やInternational Festivalなど、大学によってさまざまなプログラムが準備されていますので、有効に活用しましょう。



■ カルチャーショック

「カルチャーショック」とは、外国など異なる文化の環境下で生活するときに、自分の生まれ育った国や文化で培ってきた言葉や習慣、行動様式などが通用しないことで起こるショック状態のことです。これは、異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、焦り、不安、神経質、憂鬱、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症などとなって現れることもあります。

大切なのは、カルチャーショックについてあらかじめ知っておき、実際にカルチャーショックを感じたときに、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談することです。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、それを自分なりに克服すれば、自文化と他文化の長所と短所を冷静に比較できる目をもつことができるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

■ 逆カルチャーショック

カルチャーショックとは反対に、SA後に日本の社会に復帰するにあたって直面する適応上の問題や心理的葛藤を「逆カルチャーショック」といいます。SA先の国で培った価値観や行動様式を、そのまま日本に持ち帰ったもののそれが通用せず、「以前とかわった」などと批判されてショックが起きるのです。

逆カルチャーショックへの対処法で大切なことは、自分自身を肯定的にとらえることです。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ逆カルチャーショックが起こっているのですから、自分は2つの文化に適応できた、日本とSA先の国の両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をするように心がけましょう。

カルチャーショックを克服したように、逆カルチャーショックも月日が解決してくれます。あまり焦らず、自分の置かれた環境をよく観察して、どのようにしたら「SA体験」をこれからの進路に生かせるかを考えましょう。

危機管理・健康管理編

SA先でもつい日本と同じ感覚で行動してしまったり、逆に、SA先での開放感のために日本ではしないようなことまでしてしまうことがあるかもしれません。健康かつ安全なSA生活を送るために、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、安全に配慮することが大切です。

■ 通信手段の確保

SA期間中、日本の家族や友人、大学関係者と連絡をとることができるように通信手段をきちんと確保しておきましょう。特にご家族とは、SA前にしっかり連絡手段・頻度について相談しておいてください。日本に残された人たちは、想像以上に異国の地にいる皆さんの身を案じています。現地に着いたら「無事に到着しました」、折にふれて「元気にすごしています」、旅行に出かける際には「いつからいつまでどこへ出かけます」といった連絡があるだけで、安心してみなさんの帰りを待つことができるのです。また、SA先の国・地域で地震や台風などの大きな災害や事件・事故（ハイジャック、テロなど）が発生したら、いち早く無事であることを知らせてください。

■ セクシャルハラスメント

日本を離れて留学するということは、言葉も文化も異なる国で生活をするということです。時に、文化の相違から意思の疎通が上手くいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。このような誤解が、レイブやセクシャルハラスメントを引き起こすこともあるのです。これらのトラブルから自分自身を守るためには、文化の違いを理解することが大切です。また、これらは日本人だけの問題や女性だけの問題ではなく、誰もが被害者にも加害者にもなりえるのだということをきちんと認識しておきましょう。

他人からの誘いに対して、必要に応じ、はっきり「No」と伝えましょう。あいまいな態度は禁物です。よく知らない人と閉ざされた空間で2人きりになることも避けた方がよいでしょう。万が一トラブルが発生し、当事者同士の話し合いで解決が困難な場合は、大学の留学生アドバイザーやカウンセラーなど、信頼のおける人に相談してください。

■ 麻薬・覚醒剤

近年、世界中で麻薬・覚醒剤の汚染が広がっています。SA先の国の中には、日本よりも薬物が身近に感じられる環境の国があることも事実です。特にマリファナは、タバコよりも害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本より比較的手に入りやすいことから、旅行中に手を出す人もいます。

しかし、マリファナを含む麻薬・覚醒剤は、手を出すと、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難になります。気軽な好奇心から薬物に手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけて生活してください。麻薬・覚醒剤の所持・使用は世界の多くの国で厳しく禁じられています。国によって違いがありますが、どの国でも薬物犯罪に対してはたいへん厳しい罰則を設けています。

〈薬物犯罪に対する世界各国の最高刑〉
アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド…終身刑
イギリス…無期懲役　中国・台湾…死刑

■ 自動車(自動二輪車・電動二輪車含む)の運転

同志社大学では、本学の留学プログラムによる留学中に自動車(自動二輪車・電動二輪車含む)を運転することを禁じています。慣れない海外での運転は大変危険です。「外国人であること」「現地の言葉を十分に話せないこと」「学生であること」は万が一の時の責任を回避する言い訳としては通用しません。海外では道路標識や法律が日本と異なる上に、交通事故を起こしてしまった場合には、多額の賠償金を請求されることがあります。

■ 安全の確保とトラブル回避

①自分の居所・所在を明らかに！

SA期間中の居所・所在は、確定や変更（休暇等で短期にどこかへ出かける時を含む）の際、家族、友人（国内外）及び大学の指定する連絡先に必ず知らせてください。

また、旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヶ月以上滞在する日本人は、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。災害や事件・事故に巻き込まれた際には、日本国大使館や総領事館は在留届をもとに皆さんの所在や緊急連絡先を確認して援護にあたります。オンラインでの在留届電子届出システムにより提出することができます。

詳細は以下のウェブサイトで確認してください。

外務省渡航関連情報（届出・証明　在留届について）
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/index.html>

オンライン在留届（ORRネット）
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

②現地での行動のポイント

危険は自分でできる限り避けるよう行動しましょう。「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底してください。海外は、日本とは常識（特に安全面）が異なることをよく理解しておきましょう。大学以外の環境では特に、絶えず緊張感をもって行動し、安全に関する情報収集に努めてください。また、日没後は一人で出歩かない、大金を持ち歩かない、軽率な行動はとらないなどの注意も必要です。自分自身を客観的に見る目を持ち、犯罪者にとって狙われやすい格好や隙のある行動をしていないかを常にチェックするようにしてください。

③海外でトラブルにあったら

突発事故や災害が発生した時には、日本大使館・総領事館に連絡をとって指示を仰いでください。窃盗、強盗、詐欺などのトラブルにあった場合は、まず警察に被害届を出し、警察からポリスレポート（被害届）の受理書を受け取ってください。これは、その後のパスポート再発行や保険請求に必要となります。

いずれの場合も「危機管理サービス」の指定連絡先へ連絡をすれば手続き等について適切なアドバイスやサポートを受けることができます。

■ 危機管理サービス

SAに行く学生は、本学が契約している留学生危機管理サービスに自動的に加入することになります。危機管理サービスには、現地での生活サポート、滞在中のトラブル対処、滞在中の緊急対応などが含まれます。

■ 健康管理

日本での生活と海外での生活は当然異なります。今までは家族と一緒に生活していて、一人暮らしの経験がない人もいるでしょう。健康にSA生活を送るために、予備知識を持ち、日ごろから注意して生活することが大切です。

〈出発前に準備しておくべきこと〉

- SA先へは、必ず常備薬を持参しましょう。
- 持病がある人は、自分で対処法を十分に理解し、病気の内容や今までの経過を説明できるようにしておきましょう。かかりつけのお医者さんに英語で診断書を書いてもらっておくと安心です。
- めがねやコンタクトレンズを使用している場合は、スペアを持参しましょう。
- 歯の治療は、国によっては良い治療を受けられなかったり治療費が高額だったりする場合があります。海外旅行保険などでは原則として歯の治療はカバーしていないので、出発前に必要な治療をしておきましょう。歯科治療による一時帰国は原則として認めません。

〈留学中に注意すべきこと〉

- 現地での生活に慣れるまでは、できるだけ睡眠をしっかりとって十分に休養するようにしましょう。
- 規則正しい生活を送りましょう。SA生活を送る中では夜遅くまで勉強することも多いかもしれませんが、毎日規則正しい生活を送る方が勉強の効率もあがります。メリハリのある生活を心がけましょう。
- 身体の調子がおかしいと感じたら、できるだけ早く病院を受診し、治療を受けましょう。大学には診療所や病院がある場合が多いので、早い時期に一度訪れてみてもらいましょう。
- SA先で何かあった時に頼れる相談相手を見つけておきましょう。困った時や悩んだ時は、一人で悩まず友人や知人、SA先大学のスタッフやアドバイザー、カウンセラーに相談しましょう。

〈万が一怪我をしたら／病気になったら〉

- まずは大学の診療所や近隣の病院を受診しましょう。
- どの病院を受診すればよいかわからない場合や、緊急事態が発生した時には、身近な人に助けを求めるとともに、後述の「危機管理サービス」の指定連絡先に電話をし、適切な対応方法をアドバイスしてもらいましょう。
- 病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」をもらっておくようにしましょう。後日、海外旅行保険を使って保険金の請求をする際に使用します。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求が可能なので、領収書を保存しておくことをおすすめします。

■ 保 険

SAに出発する際には、必ず保険に加入する必要があります。SA先の国や地域・大学で加入できる（または加入が義務付けられている）保険もありますが、カバーされる内容や金額が不十分な場合が多い為、海外旅行保険や留学生保険への加入が必須となります。

全員一括で加入していただきますので、保険の加入手続きについては、SA先決定後、改めて案内します。

危機管理については、出発前に詳しい説明会を開催します。

パスポートについて

パスポート(旅券)とは、政府ないしそれに相当する公的機関が交付し、国外に渡航する者に国籍およびその他身分に関する事項に証明を与え、外国官憲に保護を依頼する公文書です。つまり、パスポートは国外においては自分の身分を証明する公的で最も通用度の高い身分証明書であり、海外へ渡航する際には必ず取得しなければならないものです。日本の旅券の有効期間は発効日から5年または10年の2種類があり、18歳以上の人はいずれかの旅券を申請できます。申請、交付事務は各都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)で取り扱われています。

パスポートの申請は、住民登録をしている都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)で申請を行うことが原則ですが、例外的に住民登録していない場合でも「居所申請」を行うことにより、現居住地の都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)で申請を行うことも可能です。

パスポート申請に必要な書類、手数料や手続方法等の詳細は、申請を予定している都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)ホームページで確認してください。

なお、パスポートの発給までには、時間を要することがありますので、申請の際は余裕をもって申請を行ってください。

STUDY ABROAD に関する内規

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

	1983年3月17日	制定
改正	1983年11月10日 1998年2月19日 2005年3月17日 2008年3月13日 2010年12月2日	1994年5月12日 1999年2月18日 2006年6月1日 2010年1月28日 2015年3月12日
(設置)	第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。 (教育機関の定義)	
第2条	この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。	
2	外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。	
(留学の定義)	第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。	
(条件)	第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。	
(1)	本学に1年以上在学していること。	
(2)	30単位以上修得していること。	
2	前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。(学籍)	
第5条	この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。	
(期間)	第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。	
2	当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある	

◎外務省ホームページ(パスポート(旅券))

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

◎近隣のパスポートセンター(旅券事務所)ホームページ

京都府… <https://www.pref.kyoto.jp/passport/index.html>

大阪府… <https://www.pref.osaka.lg.jp/o070140/passport/top/index.html>

兵庫県… <https://www.hyogo-passport.jp/>

奈良県… <https://www.pref.nara.jp/18114.htm>

滋賀県… <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/soshiki/300696.html>

場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類(留学した大学の発行するもの)を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

- (1) 成績証明書(時間数、単位数、科目名を明記したもの)
- (2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
- (3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
- (4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

派遣前・派遣中のプログラム中止・延期や帰国勧告について

外務省の海外安全ホームページでは、海外各国の最新の海外危険情報と海外感染症危険情報を以下のように4段階に大別してきめ細かな危険情報を提供しています。本学部では、出発前や留学中に以下の勧告の発出や感染症拡大などの非常事態が発生した場合、出発前の渡航延期、留学中の帰国勧告、その他緊急対応措置を検討する場合があります。留学期間中の連絡はDUETもしくは大学のメールアドレスに送られますので、留学中はこまめにチェックするようにして下さい。

『レベル1：十分注意してください』

『レベル2：不要不急の渡航は止めてください』

『レベル3：渡航は止めてください(渡航中止勧告)』

『レベル4：退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)』

・外務省 海外安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

誓約書 / 一時帰国届

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 Study Abroad に関する誓約書・確認書	
グローバル・コミュニケーション学部 学部長 様	
私は、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 Study Abroad プログラム（以下、S A という）により在学留学するにあたり、下記の事項を遵守するとともに誠実に履行することを誓約します。なお、誓約・確認事項に反した場合は、在学留学の資格を取り消される場合があること、並びに、S A 先大学で取得した単位が認定されない場合があることを承諾し、異議を申し立てません。	
記	
1. S A 先大学決定後は同志社大学グローバル・コミュニケーション学部（以下、本学部という）が正当かつやむを得ないと認める理由以外による辞退はできないこと。	
2. S A の趣旨を十分理解し、S A 先大学にて学業に専念すること。	
3. S A 期間中はS A 先大学の学則等に倣い、本学部が認めたS A 期間を遵守すること。やむを得ない理由によりS A を継続することに支障が生じた場合は、速やかに本学部に相談すること。	
4. やむを得ない理由により一時帰国をする場合は、事前に本学部に連絡すること。また、再入国に際して必要な手続きなどがある場合は、学生本人が責任を持って行うこと。	
5. S A 先大学休暇期間中などの個人的な旅行等は、自身で責任を持つこと。また、その行き先を所定連絡先に届け出ること。	
6. S A 期間中は、大学毎に定められた寮に滞在すること。大学毎に定められた範囲内で、寮に変更が生じた場合は、速次速やかに所定連絡先へ連絡すること。	
7. S A 先大学が所在する国（地域）の治安の悪化・災害の発生状況によっては、同志社大学（以下、本学という）がS A の中止または帰国勧告等を決定することがあるので、これらの事態が生じる可能性を理解し、本学の指示に速やかに従うこと。また、S A 先大学の責により発生した損害、計画、日程等に変更が生じることがある。これらの直接本学の責に帰さない事態により発生した損害・負担について本学に一切請求を行わないこと。	
8. S A 期間中は、本学の学生としての自覚と責任において行動すること。また、S A 期間中、災害、暴動、テロ、事故、疾病、犯罪などにより生じた直接本学の責に帰さない損害について、本学に一切責任を問わないこと。感染症等の拡大防止のため、日本国及び諸外国政府が検査や隔離等の出入国管理措置を定めた場合には、それを遵守すること。また、その際に追加で発生する費用負担についても了承すること。	
9. S A 期間中は、滞在国の法令、本学の学則等諸規則を遵守するとともに、S A 先大学の定める規則、指導教員、担当者等の指示に従うこと。さらには、滞在国の公序良俗に反することのないよう注意すること。また、日本で禁止されている薬物についても絶対に使用しないこと。	
10. S A 期間中は、自動車（自動二輪車・電動二輪車含む）の運転を行わないこと。	
11. S A 参加にあたっては、必ず本学部指定の飛行機で渡航・帰国すること。やむを得ない理由により変更する場合は速やかに所定連絡先へ連絡すること。なお、変更承認後の行動によって生じる一切について自己責任であることを了承すること。	
12. S A に際しては、原則として、出発から帰国まで本学部指定の海外旅行傷害保険、S A 先大学指定の健康保険に加入すること。	
13. S A 期間中は、本学部への現地到着報告、近況報告等を行い、帰国後は速やかに指定された報告書・アンケート等を提出し、報告会等での報告をすること。	
14. S A の運営や緊急時の対応のためにかぎり、本学部へ届け出た学生本人および保証人の個人情報（本学部、S A 先大学、S A 取扱業者が利用することに同意すること）。	
15. S A の運営、学生の安全確保、S A 期間中の学修状況確認等のために、S A 先大学で取得した学業成績や研修中の生活情報等の個人情報（本学部に提供することに同意すること。また、これらの情報を必要に応じて本学部、S A 先大学、S A 取扱業者が共有することに同意すること）。	
16. 特別な配慮を必要とする疾病がある場合は、出発前に本学部へ申し出ること。	
17. 本学部がS A 終了の判断、並びに、S A 先大学で取得した単位の認定を実施するには、S A 期間に発生した追加の授業料を含む全ての費用の完納を要することを承諾すること。なお、費用は為替レートの変動、学生の履修計画の変更等の諸事情により変動することを理解し、納入済みのS A 費用に不足が生じた場合はその追加の支払いに速やかに対応すること。	
年 月 日	学籍番号
上記誓約事項を遵守することを誓約します。	学生署名
学生本人が上記誓約事項を遵守することを保証します。	保証人署名
	(学生との関係：)
	以 上

●STUDY ABROADに出発する前に、「同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 STUDY ABROADに関する誓約書・確認書」を配布します。重要なことが記載されていますので、熟読し、内容をよく確認してください。本人および保証人が署名の上、提出が必要です。

大学からの重要なお知らせは、随時DUETとE-mailで通知します。
必ず定期的に確認するよう、習慣づけてください。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 TEL：0774-65-7491 E-mail：jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

一時帰国届	
同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 学部長 様	年 月 日
学籍番号： 氏名：	印
Study Abroad 期間中の一時帰国につきまして、下記の通り届出いたします。	
記	
Study Abroad 先大学	
Study Abroad 期間	年 月 日 () ～ 年 月 日 ()
一時帰国期間	年 月 日 () ～ 年 月 日 ()
理由	☐ Study Abroad 先大学での担当部署への届出及び一時帰国に伴う手続き ☐ 保護者または保証人の了承
完了事項	
部長	事務長
係長	係
年 月 日 受付	年 月 日 承認

●STUDY ABROAD期間中の帰国は原則として認められません。但し、特別な事情により日本への一時帰国を希望する場合には、「一時帰国届」の提出が必要です。



DOSHISHA UNIVERSITY
FACULTY OF GLOBAL COMMUNICATIONS
[CHINESE COURSE]